

委員会Q&A

総務・産業の各常任委員会、予算特別委員会に付託された案件の審議内容の一部をQ&Aにて掲載します

総務常任委員会

◆ 議案第77号

飛騨市税条例の一部を改正する条例について
地方税法の改正に伴う改正。

Q 配偶者控除関係で影響する人数と、減収となる額は。

A 約400人の方が恩恵を受け、約300万円の減収は国から補てんされる見込み。

◆ 議案第78号

飛騨市過疎地域自立促進計画の変更について

Q 松ヶ丘公園斎場待合室、割石温泉、ハートピアの改修事業について詳しく説明を。

A 松ヶ丘公園斎場は老朽化対策とバリアフリー化の調査設計、割石温泉は屋上防水改修、ハートピア古川はこどものこころクリニック開設に伴う施設改修。

◆ 議案第79号

飛騨市コミュニティ施設条例の一部を改正する条例について
施設の廃止に伴う改正。

◆ 議案第80号

財産の無償譲渡について
森林体験交流施設を河合町天生区へ譲渡。
※関連により一括審議。

Q 森林体験交流施設の建設目的と利用の実態は。

A 平成8年に林野庁の補助金を得て、小中学生の自然体験学習、草木染や山野草体験教室の目的で建設された。この施設で学習し、天生県立自然公園で体験学習する。

Q 有効な体験学習だが、譲渡後はやらなくなるのか。

A 譲渡後も、体験学習は開催いただく。

Q 天生は大変雪が多い地区だが、屋根は落雪式か。

A 落雪式屋根で、譲渡協議

の中で、屋根の改修が条件となり、平成27年に改修した。

Q 地元希望での譲渡か。

A 年数回の体験事業の他は地元のコミュニティ施設として使用しており地元の要望。

Q 維持管理の体制は。

A 市は光熱費のみ支出しており、他の維持管理は除雪も含め地元負担。以前から地元の施設という認識。

Q 住民が減っていく中、今後、取り壊しの問題が発生した場合はどうするのか。

A 地域のコミュニティ施設の取り壊しについては市としても負担していく必要があると考えている。

Q 建物は無償譲渡だが、土地はどうなっているのか。

A 土地は天生区所有。

◆ 議案第81号

飛騨市国民保険条例の一部を改正する条例について
飛騨市訪問看護ステーションの廃止による改正。

Q この訪問看護ステーションの利用者数は。

A 4月時点で37名が利用。8月末で19名が移行を完了。

9月末で移行を終えたい。

Q 廃止理由に「より専門性に特化した看護サービス」とあるがどういうサービスか。

A 移行先となる高山訪看は職員数が多く24時間体制ができています。

Q 医療と介護の連携で今まで市民病院と連携がとれていたと思うがこれからは。

A 現在も訪問看護ステーションに高山訪看から来ていたでいており、今後もそのスペースは残す予定。

◆ 議案第82号

飛騨市非常勤の特別職職員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
農業委員等及び非常勤医師に報酬等を支給するための改正。

Q 農業委員はどのような仕事をするのか。

A 遊休農地等の農地利用状況調査や担い手農業者、新規農業者の相談。各地域の座談会等に参加され、手放したい土地の相談など。

産業常任委員会

◆ 議案第83号

字区域の変更について
(古川町黒内VI地区)

◆ 議案第84号

(宮川町大無雁・落合山地区)

◆ 議案第85号

(神岡町西田地区)
いずれも地籍調査を機に境界線を整理する。

Q どこでも尾根などを境に字界の整理を行うのか。

A 所有者との協議で合意が得られたもので、今後も協議のなかで進めて行く。

◆ 議案第86号

市道路線の認定について
(角川・中澤上支線7号)

Q 距離は何メートルか。
A 延長30メートル。

予算特別委員会

9月補正予算審議

総務部

Q 同報無線の音声応答装置は聞き逃した分が聞けるといふことだが、定時放送、臨時放送ともに聞けるのか。

委員会Q&A

Q 振興事務所放送分を含め全放送を20回分蓄積。同時に4回線まで接続できる。

Q 市民税1600万円増は景気がいいという判断か。

A 給与所得者の所得増加。企業の聞き取りでは人手不足による人件費増という判断。

企画部

Q 宇宙物理学研究紹介展示施設のロゴマークの制作はど

A 発注済み事業の中に含まれており、乃村工芸社が制作。

Q 企画費の印刷製本費、広告料の使途について説明を。

A 印刷製本費は飛騨市フアンクラブの名刺印刷。広告料は地域起こし協力隊の募集。

Q 宙ドームの事業についてもっと市民に周知を。

A 第一弾として広報9月号に簡単な説明している。

市民福祉部

Q まめとく健康ポイントは変更点はあるか。

A 冬のスポーツも入れてという要望があり、1月から12月の期間で運用を図る。

商工観光部

Q 飛騨古川まつり会館改修事業。改修で休館は。リニユ

ーアルで座席数が減るか。

A 12月頃実施予定。休館せず映像を休止。80席程度のバス2台分は確保。

Q 郷土工芸品の技術後継者育成事業の古川の提灯。場所はどこで開催されるか。

A 見習い者の方の自宅。指導者の方にお越しいただく。

基盤整備部

Q 無電柱化の委託料。道路地中の調査は工事完成時に把握されていないのか。

A 本管の埋設は把握しているが、民地引込み等の位置、高さなど詳細を確認したい。

教育委員会

Q 要保護就学支援金。子供の数が減る中での増加は、該当者が年々増加しているか。

A 要保護児童生徒は、小中学校合わせて90名。認定者数は同程度で推移しており、生徒数が減る中では増傾向。

決算特別委員会

平成28年度決算審議

総務部

Q 公共交通の赤字路線の対策はどうするのか。

A 平均利用者が1人に満た

ない路線は見直しも検討。

Q 非常用発電機の神岡への配備はないのか。

A 浸水地域内に一時避難場所がなく、見送っている。

Q 空き家の予防策は。

A 広報等でPR。転出者の情報共有し管理者の把握に努めている。

Q 一般空き家の把握は。

A 住宅統計で1600軒。今後は地域全体で見守っていく仕組み作りをしていく。

Q 地方交付税は減額の方であるが今後の見通しは。

A 国の方針で大きな影響を受ける。市税の動向などを見守っていく。

Q 賃金の不用額が多いが、臨時職員の応募がないのか。

A 専門的職種は特に応募がない状況。

会計事務局

Q 資金の運用について、債権は考えていないか。

A 現在は債権運用は行っていない。財政課と協議する。

消防本部

Q 救急車出動のその他とは。

A 転院や医師を現場に搬送する場合である。

に使用する事例はないか。

A 軽症の搬送については、県内平均より低い実績。

企画部

Q ふるさと納税の返礼品に家具の復活はないのか。

A 総務省の通知に従い家具の扱いを取りやめた。制度継続のために通知を遵守する。

Q 「どうやなボックス」はどのような意見が多いか。

A 年代も男女比も偏っていない。苦情より提案が多い。

Q 子ども議会開催しては。高校生からもアイデアが出た。検討したい。

A みんなの博覧会のターゲットは市内か市外か。

A 最終的には市外を期待。まずは市内の方に知ってもらいたい。

Q フアンクラブ事業の加入者の目標は。

A 第2弾を作成した会員証がさばけるくらいを期待。

商工観光部

Q 商工振興費の不用額が20%弱あった要因は。

A 年度を越えた補助金事業が多くあったため、新年度事業に変更した。繰り越しの手続きを今後見直したい。

Q インバウンド観光についての具体的な取り組みは。

A 台湾、香港、タイ、フランスに対し取り組み中。台湾、香港は個人旅行中心にメディア、SNSで取り上げてもらっている。飛騨地域広域連携も活用。結果、飛騨地域にはタイからの旅行者が増えている。立山・黒部に訪れる観光客をうまく取り込めれば。ジャパンエキスポに出展し、フランスではアニメコンテンツが有効であることを再確認し、好感触。

Q 夢ふるさと案内人会の活動について。

A 案内人会の皆様はとて

古川への愛があり、ほとんどボランティアで参加されている。課題としては人数をもう少し増やしたい。

Q きつね火まつり等大きなイベントの際は観光案内所の時間を長めに運営しては。

A 夜のお客様も対応できるよう検討していきたい。

Q 流葉の人工芝グラウンド整備事業どうしていくのか。

A 引き続き交渉していく。

環境水道部

Q 自動車騒音常時監視業務はどんな場所で測定している

か。段差で大きな音がでるような場所も測定しているか。

A 国道41号と県道を調査している。イレギュラーな場所での調査は行っていない。

Q ごみ減量化推進事業について、平成27年度に比べてどれくらい量が減少したのか。

A 6万1千キログラム減少した。約8%の減少。

Q 下水道に対する今後の負担について。

A 下水道事業は、下水道債に関する元利償還金が交付税算入される。当面繰出金が急増する事はないと見ている。

Q 漏水などによる無収水量は下げられないのか。

A 使用量の少ない深夜に漏水調査を行い修繕している。地道に漏水調査を進める。

農林部

Q 広葉樹のまちづくりの推進について、小径木広葉樹特性試験事業で予算約400万円に対して決算30万円と不要額が多いのはなぜか。

A 当初の見積りでは、民間事業者で見積りをしていたが岐阜県生活技術研究所に切り替えたこと、必要な試験項目の精査を行い減となった。

Q 5年に一度の全国和牛能力共進会が開催されたが、今後の飛騨市の取り組みは。

A 今回の目標は最優秀枝肉賞獲得であったが残念ながらなかった。受賞した九州の繁殖雌牛は20万〜30万頭で岐阜県は8千頭しかない。その中で立ち向かう事は大変難しいが、底上げして県と連携して進めていく。

市民福祉部

Q いきいき健康増進事業は今年度利用者は増えたか。

A 対象が65歳から70歳になったが利用は5割増えた。

Q 児童精神科の見通しは。

A 今秋から週1回の開設、来年度からはフル稼働する。県内の関係機関と連携しながら運用したい。

Q 出会い・結婚事業の登録者少ないが。

A 市結婚相談利用者に登録を勧めている。年度当初からは増加した。

Q 和光園の借地契約はどのようなものか。

A 地権者希望で30年契約とし、その時点で見直す。

Q 介護支援手当の増額は検討していないか。

A 平成26年度までは介護保険特別会計で実施していたが、改正で保険外となり一財で継続した。金額については他自治体も参考に検討したい。

Q 介護者の集いはあるか。

A 年8回、介護技術研修や話し合いを行っている。

Q 障がい者就労の現状は。

A 市内のサービスは少ないが、雇用については前向きな事業所が増えている。

基盤整備部

Q 地域振興費。現在1億円で、今後も継続していくのか。

A 地域振興費は続けていきたい。少し増やす事も議論している。地区の要望に、より柔軟に対応できる。

Q 道の駅について、ハード面とソフト面があるが、連携はしっかりとれているか。

A 道の駅は3箇所あり、それぞれ対応が異なる。企画部と基盤整備部は連絡を密にとっている。アルプ飛騨古川はトイレ改修について国交省と相談している。

教育委員会事務局

Q 給食の異物混入や食べ残しはないか。

A 報告は受けていない。

Q 育英奨学金は希望者全員が借りられたか。

A 全員該当した。返済も年内に納入されている。

Q 夏休み中の部活時スクールバスの利用要望はないか。

A 新年度にむけ、学校と検討する。

Q 文化施設や体育施設でコンベンション利用あったか。

A 文化交流センターで1件あり、宿泊にもつながった。

Q 観光課と連携し進める。

Q 部活動補助金の範囲を広げ、保護者からの反応は。

A 負担軽減で、ありがたいという声が多い。

Q 小学校から英語教育が始まるが対応は。

A 現在はALT3名が対応している。平成30年度からの導入につき文科省のプログラムをみて考える。

病院管理室

Q トーマツによる経営改善でよくなった点は。

A 地域包括ケア病床8床を取得したこと。3カ月で500万円の収益があった。

Q 未収金への対応は。

A 連絡をとり、毎月納入されるよう努力している。

編集後記

実りの秋、芸術の秋、スポーツの秋を迎え飛騨市内各所でイベントが目白押し。イベントと言えば9月8〜10日に仙台市で開催された全国和牛能力共進会を視察。飛騨市からは2頭が出場したが、今回は九州勢が各部門で強かった。飛騨牛は銘柄化されてから約30年、今日最高級黒毛和牛の一つとなっており、これは関係者の並々ならぬ努力の賜物だと感じる。ブームに乗ってアピールすることも大切だが、本質を捉え、根付かせ成長させるには、時間をかけ官民一体となって努力し続けることが必要である。

視察最終日に東日本大震災の震災遺構「旧荒浜小学校」を視察。2階の廊下まで津波が押し寄せ、地区で約2百人の方が犠牲になった。自分の地域をよく知り、防災だけでなく個人ができる減災を広く呼び掛けていきたい。イベントなどで議員の顔を見掛けたら、どうぞ気軽に声をおかけ下さい。

(澤 史朗)